

11 改善指導案（本時の学習展開）

	児童の学習活動	主な発問（○） 予想される児童の発言（・）	指導上の留意点（○） 評価の観点（☆）
導入	1 アンケートの結果について知り、 本時のめあてをつかむ。	○「親切にするとはどうすることだと思いますか。」というアンケートの結果を発表します。 ・物を拾ってあげる。 ・困った友達に大丈夫？と声をかけてあげる。 ・遊びに誘ってあげる。 本当の親切って何だろう。	○事前にアンケートをとった結果を提示し、めあてを意識させる。
展開	2 教材「心と心のあくしゅ」を聞いて話し合う。 ○P133 11 行目まで聞く。 ○P134 18 行目まで聞く ○P134 18 行目から最後までを聞く。	「荷物、持ちます。」と声をかけたのに断られた「ぼく」は、どんな気持ちでしょう。 ・せっかく手伝ってあげようと思ったのに。 ・せっかく親切に声をかけたのに。 ・転んだらどうするんだ。危ないよ。 しばらく考え、そっとおばあさんの後ろをついて歩くことにした、「ぼく」はどんなことを考えていたのでしょうか。 【おばあさんのこと】 ・この前より大変そうだなあ。 ・自分の力で歩きたいから、そうとしておこう。 ・おばあさんがんばれ。 【自分のこと】 ・困ったら助けるからね。 ・本当に声をかけなくてもいいのかな。 「ほんとうの親切とは何かが少しだけ分かった気がした。」ぼくは、どんなことがわかったのだろう。 ・見守ることも親切。 ・声をかけなくてもおばあさんを通してあげることが大切。 ・自分にできることが何か考えることが大切。	○T1, T2 で役割分担をし、教材文を範読する。 ○おばあさんの気持ちを考えようとはしていないぼく的心情を捉えさせる。 ○「みんなもこんなことない？」と問い、これまでの自分の経験を想起し、ぼくの気持ちに共感しやすくさせる。 ○葛藤したうえでついていくことを選んだぼくの気持ちを考えるを通して、何もしないで見守ることにしたぼくの思いに共感させる。 ○見守る行動も親切の一つだと気付かせる。 ○道徳ノートに自分の考えを書かせる。一人一人しっかりと考える時間をとる。 ○T1, T2 で机間指導を行い、児童の把握を行う。 ○グループで考えを交流させることで、親切にも多様な考え方があることに気付かせる。 ○T2 が児童の考えを分類、整理

		みんなにとって「ほんとうの親切」とはどんな親切なのだろう。 ・見守ることも親切。 ・相手のことを考えた親切。 ・本当に必要なことか考える。	して板書する。一般化に向けてキーワードとなる言葉を板書する。 ○「ぼくはおばあさんに何もしていないけど、これって親切なの」と切り返し発問をすることで、親切は行動することだけではないことに気付かせる。 ☆見守ることも親切の一つであることに気付いているか。(道徳ノート, 発言) ○<u>ほんとうの親切を身近なものと結びつけて価値を温める。</u> ○グループで話し合わせ, 各班でジャムボードに書いて発表させ, 多様な意見にふれさせる。導入のアンケート結果の「親切」な行動とのちがいに着目させ, 本時の主題である「ほんとうの親切」とは何かについて考えを深めさせる。 ○<u>ジャムボードを使って, 各班で話し合った内容を全体で交流し合う。</u>
終末	3 本時のまとめを行う。	今日の学習でどのようなことを学びましたか。また, これからどう生活していきたいと思えますか。 ・相手のことを思って親切な行動をしていきたい。 ・これから, 友達の様子を見て, 見守ることもしていきたい。	○振り返りの視点を提示し, 一人一人道徳ノートで振り返りを行わせる。 ○<u>導入場面の児童の考える「親切」と, 本時の学びから考えた「親切」のちがいについておさえる。</u> ☆教材を通して考えたことをもとに, ほんとうの親切とは何かについて考えを深めることができたか。 (道徳ノート, 発言)